

短期研修報告書

記入 | 2015年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	モナシュ大学 (オーストラリア)
短期研修のプログラム名	GPP
留学した期間	2015年8月6日 ~ 2015年9月5日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

以前から留学したいという思いがあり、話を聞いた中でこのプログラムに参加したいと思い応募しました。留学前には英語を聞くようにしました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

最初の二週間は一日授業があり、9:00~12:00、13:00~16:00、後半の二週間は半日で、8:30~12:30で、授業内容は主にオーストラリアの文化や歴史、work cultureやdiversityについて。また、企業訪問もあり、オーストラリアの職場がどのようなものであるかを知ることができました。前半二週間は上海とマカオから来た留学生と同じ授業を受けたため、英語でディスカッションをしたり、休み時間や放課時間にも英語を使う機会が多くありました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

思ったよりは治安が良かった。物価は日本よりも断然高い。水は貴重であると言われてはいたが、現地の人たちもそこまで気にしていなさそうだった。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

夜8時にもなると電車に乗っている人は少なくなり、また道路も人通りが少なくなるため、少し怖いと思った。街灯も日本より少なかった。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

得るものはとても大きいと思います。自分の視野、世界が広がったなと思いました。行く前には十分に英語の練習をしたほうが良いです。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

週末には現地で仲良くなったクラスメートと遊びに出かけました。マカオと上海から来た生徒たちと友達になることができ、現在も連絡を取っています。

↓グレートオーシャンロード



↑メルボルン市内

↓コアラ!



↑ビーチ



短期研修報告書

記入 | 2015年 9月
所属 & 学年 | 文学部 3年生

留学先大学 (国名)	モナッシュ大学
短期研修のプログラム名	G P P
留学した期間	2015年8月7日 ~ 2015年9月6日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけは語学力の上達と異文化理解でした。また、プログラムに企業訪問があり、就職を考える上で役に立つのではないかと思います、このプログラムを申し込みました。手続に関しては、すべてC I E Eを通して行ったため問題はありませんでした。事前の準備に関しては、この短期研修のための語学対策は特にしませんでした。メルボルンの情報はインターネットや情報誌を見て調べておきました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業内容は主にビジネスカルチャーを中心とした異文化理解に関してで、ビジネスの専門的な内容は一切ありませんでした。授業の形態は座学とディスカッションが中心で、4週間のうち初めの2週間はマカオや上海から来た生徒と交流することができ、非常に楽しかったです。また、サークル団体の活動を通してモナッシュ大学の現地の学生とも交流出来たことも貴重な体験でした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

基本的に食事はホームステイ先で1日3食という条件であったので問題ありませんでした。体調管理に関しては、気温が寒すぎて鼻風邪を引きましたが、持参した市販の薬でなんとかなりました。また、お金については、10万円を換金して現金で持って行ったのですが、大金を持ち歩くというリスクを考えると、現金5万円分とクレジットでも良かったなと思いました。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

メルボルンでは、多くの家庭が21~22時ごろには就寝する傾向にあり、夜遅い時間は人通りがまったくなかったです。また街灯も日本に比べて非常に少なかったです。ホストファミリーに夜遅い時間の電車は危険と言われていたので、夜遅く帰る際はできる限り最寄り駅の近い学生と一緒に帰るように心がけていました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

1ヶ月といえど、非常に貴重な体験をすることができました！この短期研修を通して、“人と出会うこと”が“その国の文化を理解する”ことに繋がるということを実感しました。プログラムに少しでも興味があったら、参加することをお勧めします！

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	円	CIEEに一括で支払い、明細を捨ててしまったため各項目でいくらかったかわかりませんが、全部で680,000円でした。
海外旅行保険	円	
授業料（教材費含）	円	
滞在費（寮費など）	円	
食費	円	
交通費	円	
その他（小遣い、通信費など）	100,000円	
計	780,000	円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

私たちが通っていたキャンパスは、シティキャンパス（222 Bourke St）ではなく、経済学部の入った新しいキャンパス（271 Collins St）で、設備が非常に整っており、快適な場所でした。以下に写真を貼っておきます。



短期研修報告書

記入 | 2015年 9月
所属 & 学年 | 文学部 2年生

留学先大学 (国名)	モナシュ大学 (オーストラリア)
短期研修のプログラム名	GPP
留学した期間	2015年 8月 7日 ~ 2015年 9月 6日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけは、大学生活で一度は留学したいと思っており、行くなら二年の夏か春休みがいいと思っていたからで、二年になる直前の春休みから、民間を含め、留学のプログラムを調べるようになりました。調べていく中で、企業訪問ができ、海外の職場はどのようなものかを知れるというこのプログラムに興味をもち、留学室の先生と何度も話して決めました。留学前に行ったことは特に何もありません。少し意識的に TED などを見る回数を増やし、英語を聞くようにしていただくくらいです。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業は、4週間のうち、前半2週間は午前9時から午後4時までの授業、後半は午前8時半から12時半まで、授業の内容は海外での職場に必要なスキルやマナー、異文化理解などで、ディスカッションが中心でした。これに加えて、企業訪問 (授業の日程に組まれているものと自分で選択していただけるもの) やオプションの授業に出席することもできる。また、前半2週間はマカオと上海からの留学生と授業をうけていたため、授業後や休日にいろんな場所へ行き、とても仲良くなることができました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

オーストラリアでは水不足が深刻であるので、水を使いすぎないように気を付けました。食生活は、日本に比べると、肉類やファーストフードを多く食べた気もしましたが、アジアショップや中華街、ベトナム料理街、ギリシア料理街など、いろいろな国の料理が食べられる場所があったので、気になったものをいつでも食べに行っていました。もちろん日本料理店もあり、私はすき焼きを食べました (ちょっと味が濃かったですが、日本で食べるものとそんなに味の違いはなかったです)。健康管理としては、睡眠時間を多くとりました。課題がほとんどなかったため、たっぷり睡眠をとることができました。

持参してよかったものは風邪薬や正露丸のような、普段自分が飲むような市販の薬ですね。ただ、とくに気合い入れていろいろもっていく必要はないのかもしれないかもしれません。現地で自分の足を動かしてお店の人とおしゃべりしながら必要なものを買うのも留学の良いところだと思うので。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

夜遅くなりすぎないようにしました。遅いときや暗い道を一人で歩くときは、少し後ろを気にしながら歩きましたね。また、貴重品は小さいバックに入れてリュックの真ん中に入れておきました。酔っ払いに声をかけられることはたまにありましたが、危険だと思ったことは幸い一度もなかったです。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

このプログラムを終えて、海外で働くのも自分の中の選択肢の一つとして増えました。実際に話を聞いたり、現地で働いている人々をみたりすると、すごく楽しそうで、やりがいがあることが分かったからです。また、やってみる

と意外とできることはあるということが今回分かりました。私はよく自分でアクションを起こすのにためらいを感じ、行動までに時間がかかっていたのですが、今回は限られた時間の中でできる限りいろいろなことをしようと考え、実行するというシチュエーションが多かったので、これからもその感覚を忘れず、やりたいことはすぐに取りかかり、時間を無駄にしないようにしていきたいです。

これから留学を考えている人は、すぐにでも留学を決断し、その留学中に自分が何をしたいのか、何を得たいのかなどを考え、実行してほしいと思います。自分は留学をするんだ、という気持ちがモチベーションを上げ、留学をよりよいものにする原動力になるでしょう。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	円	
海外旅行保険	2万円	
授業料(教材費含)	円	
滞在費(寮費など)	円	
食費	3万円	ホストが作ってくれたものを除く
交通費	5千円	定期券
その他(小遣い、通信費など)	9万円	
計		円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

メルボルンに行ったら、グレートオーシャンロードには行っておきましょう。ツアーを予約しなければいけませんが、海や森がきれいです。



また、ブライトンビーチやパフティングビリーの蒸気機関車もおすすめです。

